



# SPORT for Life

～スポーツで人生を謳歌する～

いくつになっても心身ともに健康な生活を送りたいものです。年齢を気にすることなく生涯スポーツに取り組むことで、体調の維持だけでなく、新たな交友関係を築くことができるなど様々な喜びや楽しみがあります。スポーツをこよなく愛し、「人生を豊かに過ごしている」人物をご紹介します。

第12回  
2017.2.4

や の とも こ  
**矢野 智子** さん 47歳

## 監督兼メカニックの夫と挑む自転車競技 信頼できる伴侶と仲間に恵まれて嬉しい

「関西マスターズスポーツフェスティバル京都市民総合体育大会自転車シクロクロスマスターズ大会」が2月4日、京都市南区桂川緑地久我橋南地区特設コースで行われた。矢野さんは、信頼する夫と仲間のサポートを背に、クラス優勝を飾った。

### 夫と仲間の応援を背に、 クラス優勝

黒を基調にしたチームウェアに身を包み、矢野さんがペダルをこぐ。舗装された道路を走るロードレースとは違い、未舗装の悪路を周回するシクロクロス。コースには芝や泥道に加えて階段や柵など、自転車を担がなければならぬ障害物まで待ち受ける。「自転車で乗ったら速いんですが、担いで障害物を飛び越えるのが苦手なんですよ」と笑う矢野さん。「頑張れー！前のオッサンに負けるなー！」との笑い声交じりの声援を背に、見事に規定の8周を走破し、47分28秒のタイムでF45（45～54歳女性）クラス優勝を飾った。夫で監督を務める宏治さんが満面の笑みで見守る中、表彰台の中央で「皆さん応援ありがとうございました。チームのメンバーも応援してくれて、疲れて休もうかと思ったらヤジも飛んで（笑）。本当にありがとうございます」と白い歯を見せた。

### 信頼できる夫と二人三脚の競 技生活

19歳の時に訪れたバイクショップで働いていた宏治さんと出会い、「主人のオートバイに乗っている姿が格好良かった。一緒に居て自然体でいられたので」と24歳で結婚した矢野さん。2010



年、それまで縁のなかつた自転車に心を奪われた。友人とサイクリング用に小さな自転車でも買に行こうかと、軽い気持ちでお店に行くと、ロードバイクのフォルムに魅了された。宏治さんと「安全を最優先するなら」と約束し、購入。2年後には実業団選手としてロードレーサーデビューを飾ると数々のレースで実績を残し、シクロクロスにも挑戦。宏治さんが経営するお店でも自転車の比率を増やし、店名も「CYCLIST OASIS PETS」とし、2013年に京都を本拠地とする地域密着型の自転車レースチーム「MOJYUMA Area075」を立ち上げた。SNSでの動画配信を機に、矢野さんが師と仰ぐ実力者の所司純一選手がチームに加わるなど競技仲間も増えた。監督兼メカニックの夫と二人三脚の競技生活に「信頼できる夫と一生をともにできることが本当に嬉しいです」と最高の笑顔を見せた。

### 矢野さんに聞く

#### 自転車競技の魅力は？

矢野 機械的な動力がない乗り物を自分の力で走らせるためには苦しい練習をしないとイケませんが、練習をすればするだけ結果につながるの楽しいです。

#### 学生時代の夢は？

矢野 バスガイドさんになりたかったのですが、乗り物酔いが激しいことに気が付いていなくて…。子どもが好きなので資格を取り、保育士として働きました。

#### チームメイトとの楽しみは？

矢野 月に1度の「マグロ会」です。「マグロのお店に行こう！」と発足した会で、多い時は10人ほどになる飲み会です。今ではマグロのお店に限りませんが（笑）。

#### 当面の目標は？

矢野 トラックに入る機会を増やして競輪学校の試験に受かることです。そしてワールドマスターズゲームズ2021関西に出場することです。